

ソーシャルワーカーこそ 平和を語ろう

— 戦争に向かう社会に抗うために —

ソーシャルワーカーは、「すべての人の尊厳と人権を大切にすること」「社会正義を実現すること」を専門職の中心に据えています。けれども、日々の実践の中で、それらの価値を意識し続けるのは容易ではありません。この研修では、まず、かつての戦争が障害者差別や今日の福祉制度にどう影響をもたらしたのかを学びます。その上で、ソーシャルワーカーが平和の担い手として何ができるのかをみんなで考えてみます。過去に戦争に抗い、実践を続けた人たちの知恵や勇気にも学びながら、いま私たちにできることを、ともに探っていきましょう。

◇日時 2025年11月29日（土）13:00～16:00

◇場所 明治学院大学白金キャンパス（対面開催のみ）

*教室の詳細は後日、参加者にお伝えします。

◇対象 社会福祉実践者（本学卒業生を含む）、本学在学生

◇定員 30名（要事前申し込み、先着順）

◇内容 講師による講話およびワークショップ

◇講師 藤井渉先生（日本福祉大学、社会福祉士）

今日の福祉現場がかつての戦争どのような影響を受けてきたかを実証的に研究し、戦争と福祉を考えるための取り組みを行っている。

主な著書に『障害とは何か——戦力ならざる者の戦争と福祉』（法律文化社、2017年）、『ソーシャルワーカーのための反「優生学講座」——「役立たず」の歴史に抗う福祉実践』（現代書館、2022年）など。



藤井 渉 先生

◇その他 申し込み期限：11月25日*ただし定員に達し次第、申し込みを締め切ります。
託児・手話通訳が必要な方は、お早めにご相談ください。

【お問い合わせ】

明治学院大学社会学部附属研究所 担当：竹沢・森

メール：ssoudan@soc.meijigakuin.ac.jp 電話：03（5421）5205

お申込みは右記のコードを読み取りウェブフォームよりお申込みください

